

【美術科実践例】

岩山 洋祐

1 単元

アートかるたを作ろう・アートかるたで遊ぼう （1年）

2 目標

・読み札のことばに合った絵札の特徴を探したり、解釈を説明し合ったりする活動を通し、作品のよさを味わい多様な見方や感じ方を知ることができる。

3 研究主題とのかかわり

視点① 根拠をもって自分なりに解釈を考える

視点② かかわり合いの中で自分の考えを伝え、相手の考えを聞く

4 指導計画

（1）作品を見て、かるたの読み札を考える

（2）作成した読み札を使ってかるた遊びをする

5 成果と課題

○ゲーム形式にすることで楽しく意欲的に学習に取り組ませることができた。

○様々な視点で作品を見ることで、様々な解釈が生まれることに気づかせることができた。

○作品の解釈についてかかわり合いの中で自分の考えや相手の考えを交流することができた。

△作品の造形的特徴を見つけることができて、そこから作者の意図や思いを読み取り言語化する力が足りず、読み札の言葉に仕上げるのが難しい生徒が多かった。

△作品を見る視点を例示して読み取るヒントにさせようとしたが、思考がそこから広がらず、自由な発想を促すには至らなかった。